

三辺固定一辺自由矩形版の計算及びその応用……………	正員 准員	工博	水野高明 吉村芳男	4	10
測角の精度に関する実験的研究……………	准員		北郷繁	4	14
コンクリート電気養生に関する研究……………	准員		大浜文彦	4	18
鉄筋コンクリート部材の接合に関する実験的研究……………	准員		吉村虎藏	4	22
印度の河川について……………	正員	工博	矢野勝正	5	1
プレートガーダー架換機に使用した高力アルミニウム					
合金部材の設計について……………	正員 "	工博	福田武雄 菊池洋一	5	5
沖積地における河川流について……………	正員		久宝保	5	9
電気伝導度に依る輻圧効果の迅速判定法……………	准員		渡辺隆	5	13
唐津港石炭積出施設工事報告……………	正員		佐田悦二	5	17
滲透流に対する Hele-Shaw の実験の応用……………	准員		嶋祐之	5	21
鉄筋コンクリート固定アーチ設計々算の一方法……………	正員		川上麒夫	5	24
第4回国際大堰堤会議及び視察旅行報告……………	正員		新井義輔	6	4
砂の表面積と透水係数との関係について……………	正員		太田誠一郎	6	9
濁濁水流について……………	正員		久宝保	6	12
土質力学体系への一試案……………	正員	工博	最上武雄	6	16
脱線係数式の一考察……………	正員		後藤宇太郎	6	20
旭化成水ヶ崎発電所工事について……………	正員		西沢治	7	1
堤体の滲透流線決定に関する実験……………	正員		久保田敬一	7	6
栃木地震の時の板荷村役場床版の破壊について……………	正員	工博	岡本舜三	7	10
地被植物の急斜面土壌浸蝕に及ぼす効果……………	正員		田中茂	7	12
電気抵抗の変化による軌条応力の測定……………	正員 准員 "		小林勇男 後藤尚弘 三輪英	7	17
橋脚壁面における流れの剝離について……………	正員 准員		杉本修一 稲田裕	7	21
降雨から確率洪水流量を推定する方法について……………	准員		上山惟康	7	26
日本学術会議の近況について……………	正員	工博	石原藤次郎	8	3
石淵堰堤における岩石爆破工事について……………	正員 准員		川瀬正俊 吉井彌七	8	6
土堤内応力分布の解法について……………	正員 准員	工博	村山朔一郎 赤井浩一	8	11
衝合溶接の疲労強度決定に関する一統計的考察……………	正員		福井武弘	8	17
底流砂又は伏流に関する一考察……………	正員		久宝保	8	21
繫船岸の築造限界について……………	正員		宮崎茂一	8	26
路盤とコンクリート舗製の亀裂……………	正員		竹下春見	8	28
鉄道連絡船の衝撃によるケーソン岸壁の移動について……………	正員		松本有	8	30
土木用語の制定について……………	正員	工博	福田武雄	9	1
腹材変形の影響を考慮に入れた桁としての					
等断面平行弦単純トラス橋の強制振動について……………	正員 准員		安部清孝 手塚薫	9	5
揚圧力に関する研究……………	准員		丹羽義次	9	11
不完全剛結ラーメンの解法に応用したる撓角分配法……………	正員		山崎徳也	9	16
ジェーン台風による大阪湾諸港における異常高潮について……………	正員		永井莊七郎	9	21
寒天模型による重力ダムの振動実験……………	正員	工博	畑野正	10	1
十字材系としてのラーメンの解法……………	正員		村上正	10	6
突堤の自由振動について……………	正員		畑中元弘	10	11
隅肉溶接継手の実験……………	正員		桜井季男	10	16

鉄筋コンクリート単純版の荷重分布有効巾に関する研究……准員	米 沢 博	10	20
混合機構の研究……正員	工博 村 山 朔 郎	10	26
地震時動水圧の模型実験……正員	工博 柳 場 重 正	11	4
弾性基礎にある梁に関する2,3の解法について……准員	後 藤 尚 男 英	11	9
鋼道路橋鉄筋コンクリート片持版の			
荷重分布有効巾に関する研究……正員	成 岡 昌 夫 博	11	14
現場コンクリートの強度試験に関する2,3の問題について…正員	丸 安 隆 和 一	11	19
骨材の粒度の不均等性がコンクリートに			
及ぼす影響について……正員	坂 本 貞 雄	11	25
管路における砂水流れの抵抗について……正員	小 川 元	11	30
土の懸濁液の粘性に関する実験的研究……正員	松 尾 新 一 郎 夫	11	32
樹枝状構造論・道路及び河川の地域配分の研究……正員	工博 岡 本 但 夫	12	1
セメント圧縮強度とコンクリート			
圧縮強度との関係について……正員	工博 水 野 高 明	12	5
鋼道路橋の鉄筋コンクリート連続版の			
設計曲げモーメントについて(1)……正員	成 岡 昌 夫 博	12	8
水門を有する湖沼の水位推算について……正員	杉 尾 捨 三 郎	12	13
地上写真測量の図化方法及地籍測量への利用性について……正員	工博 丸 安 隆 和	12	18
鉄筋コンクリートバリの曲げ降伏特性……准員	神 山 一	12	24
曲梁の歪エネルギーに対する公式……正員	大 野 諫	12	29
土の粒度加積曲線に関する統計学的研究……正員	工博 岩 井 重 久 郎	12	32
寄 書			
地下鉄道建設と高架式自動車道路……正員	清 水 力	1	39
建設工事の機械施工に対する一考察……准員	小 田 清 忠	2	35
地下鉄対高速道路の問題……正員	近 藤 謙 三 郎	3	39
米国における科学技術振興方策……正員	工博 千 秋 邦 夫	4	26
米国マサチューセッツ工科大学の学制と学生生活の概観……正員	林 泰 造	5	27
工業標準化事業 30 周年……工業技術庁標準部		10	31
アジア及び極東に於ける洪水対策……正員	工博 本 間 仁	10	32
高架鉄道か地下鉄か……正員	西 川 総 一	12	36
資 料			
L.E. Grinter の Grid Analysis……正員	工博 横 尾 義 貫	1	41
鉄筋コンクリート鋪道における応力測定……正員	成 岡 昌 夫	1	43
秋田県大柳部落の地入りについての土木地質学的研究……正員	秋 元 力	2	36
高松港におけるセルラブロックの設置について……正員	松 本 有	2	38
工業標準化法による表示制度について……准員	伊 藤 悦 郎	3	42
北陸地方融雪洪水の基礎調査……編集部		3	43
原子爆弾の効果に就いて……正員	北 村 市 太 郎	4	30
鉄筋コンクリート梁のクリープ応力近似解……准員	岡 田 清	5	29
国際十進分類法について……正員	井 口 昌 平	5	32
計画洪水位について……正員	井 部 勇 一	6	25
米国の諸大学において使用されている			
水理学及び流体力学の教科書……正員	林 泰 造	7	31

干拓地の排水樋門に対する一考案……………	准員	山本弘之	8	35
高低測量において直接地盤高を得る改良箱尺について……………	正員	勝見進	8	36
流量年表の信頼度について……………	正員	米元卓介	8	37
米国の道路行政について……………	正員	片平信貴	9	26
構築物用傾斜計について……………	正員	理博 那須信治郎	9	29
		窪田吾郎		
計算器の活用……………	正員	高畑政信	10	33

抄 録

基礎の状態に適応させた

Davis Dam の築造……………	1	45
Delia-Mendoto 運河工事の機械施工……………	1	46
非粘着性土壌の毛管現象……………	2	40
コロラド下流の河流と潮汐の影響……………	2	41
転圧土堰堤の安定化に影響を及ぼす土の 間隙中の空気量について……………	3	44
マスコンクリートダム建設に於ける 温度調節問題……………	3	45
Conchas 貯水池の滞砂問題の研究……………	4	33
1935 年以後の Colorado 河の変状……………	4	34
コンクリートミキサの羽根は このように改良するのがよい……………	4	34
海水更生自働調節装置を有する 軟化浄水場……………	5	35
新タコマナローズ橋の床版……………	5	36
貯水池用傾斜引入口……………	6	27
海岸防護工事……………	6	27
Malmö 港の模型実験……………	7	32
Detroit ダムの人工冷却……………	7	32
大堰堤用コンクリートの過去 現在及び将来……………	8	38
若し原子爆弾が投下されたらシカゴの給 水はどうなるか……………	8	39

鉄筋の付着強度及び定着についてのアメリ

リカの示方書(Building code)の改正……………	8	40
ダムの内部に使用する貧配合の コンクリート……………	9	31
完成した Enders Dam……………	9	32
締切工の下からの漏水をとるために 用いた薬液注入の施工例……………	9	33
梁と骨組構造の極限設計について……………	10	36
高炉セメントはアルカリ—骨材反応で 起る膨脹を減少する……………	10	37
薄層コンクリート被覆による 舗装版の蘇生法……………	10	38
Papaloapan 川改修工事……………	10	39
デンマークの新軌道式船渠……………	11	36
脆性鋼材による Qvebec における 橋梁の破壊……………	11	36
閉水路における乱れの輸送機構と 浮游物質……………	11	37
リオグランデ沿岸の国際的灌漑事業着工……………	11	39
水理実験用偏光器……………	12	38
多数の電気歪計のための水銀スイッチ……………	12	38
Joint-venture 式請負様式について……………	12	39
コンクリート舗装版の反り……………	12	40

講 座

洪水特論Ⅵ 流送砂泥の問題……………	正員	細井正延	1	48
洪水特論Ⅶ 洪水対策……………	正員	工博 安芸皎一	2	44
衛生工学特論(Ⅰ)……………	正員	工博 広瀬孝六郎	3	47
衛生工学特論(Ⅱ)……………	〃	〃	4	36
衛生工学特論(Ⅲ)……………	〃	〃	5	38
コンクリートダム特論(Ⅰ)ダムの設計条件について……………	正員	新井義輔	6	29
コンクリートダム特論(Ⅱ)ダムの施工計画及び施工設備(1) ……………	正員	有坂誠喜	9	35
コンクリートダム特論(Ⅱ)ダムの施工計画及び施工設備(2) ……………	正員	有坂誠喜	10	41
コンクリートダム特論(Ⅲ)ダムの打上り及び冷却について ……………	正員	藤田博愛	11	40
コンクリートダム特論(Ⅳ)ダム用コンクリートの配合の設計と均質の保持について ……………	正員	大野祐武	12	43